

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和4年5月30日)

申請者名 (法人名) _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を省略しているものもあります。

I. 次の問題1から16の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を()
内に記入しなさい。

問題1 (定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送(自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。)を利用してする貨物の運送をいう。

(貨物自動車運送事業法)

()

問題2 (事業計画)

事業者は、その業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題3 (名義の利用等の禁止)

事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 4 (輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止)

事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあっては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 5 (事故の記録)

事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記録し、その記録を本社において1年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 6 (過労運転の防止)

事業者は、乗務員の健康状態の把握に努め、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をし、又はその補助をすることができないおそれがある乗務員を事業用自動車に乗務させてはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 7 (運送約款)

事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。但し、事業者が、国土交通大臣が定めて公示した標準運送約款と同一の運送約款を定め、又は現に定めている運送約款を標準運送約款と同一のものに変更したときは、その運送約款については認可を受けたものとみなす。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 8 (運行管理者)

事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転者のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 9 (事業)

国土交通大臣が指定をした地方貨物自動車運送適正化事業実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他この法律又はこの法律に基づく命令の遵守に関し事業者に対する指導を行う。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 0 (従業員に対する指導及び監督)

事業者は、当該事業に係る主な道路の状況その他の事業用自動車の運行に関する状況、その状況下において事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な運転の技術及び法令に基づき自動車の運転に関して遵守すべき事項について、運転者に対する適切な指導及び監督をしなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 1 1 (点呼等)

事業者は、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示をしたときは、運転者ごとに点呼を行った旨、報告、確認及び指示の内容等を記録し、3年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 1 2 (過労運転の防止)

事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 1 3 (事故の報告)

事業者は、その事業用自動車が転覆し、火災を起こし、その他国土交通省令で定める重大な事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 4 (有償運送)

自家用自動車は、無償で運送の用に供してはならない。ただし、災害のため緊急を要するとき、又は公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するときは、この限りでない。(道路運送法)

()

問題 1 5 (輸送の安全)

事業者は、事業用自動車の最大積載量の9割を超える積載をすることとなる運送(以下「過積載による運送」という。)の引受け、過積載による運送を前提とする事業用自動車の運行計画の作成及び事業用自動車の運転者その他の従業員に対する過積載による運送の指示をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 6 (運行指示書による指示等)

事業者は、1週間ごとに貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記載した運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し、適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

II. 次の問題 1 7 から 2 1 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 1 7 (届出)

次の届出のうち誤っているものを1つ選びなさい。

(貨物自動車運送事業法施行規則・貨物自動車運送事業報告規則)

- ア. 一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員又は社員に変更があった場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。
- イ. 一般貨物自動車運送事業者及び特定貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金を定め又は変更しようとするときは、その30日前までに、運賃料金設定(変更)届出書を所轄地方運輸局長又は国土交通大臣に提出しなければならない。
- ウ. 一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。

()

問題 18 (過労運転の防止)

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から2つ選び()に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 日々雇い入れられる者

イ. 正規社員

ウ. 試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

() ()

問題 19 (乗務等の記録)

事業者は、事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録させ、かつ、その記録を一年間保存しなければならないが、次のア～ウについて、記録させる事項として正しいものには○を、誤っているものには×を()内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 乗務した事業用自動車の自動車登録番号その他の当該事業用自動車を識別できる表示

イ. 運転者の住所

ウ. 休憩又は睡眠をした場合にあっては、その地点及び日時

ア () イ () ウ ()

問題 20 (従業員に対する指導及び監督)

事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める運転者に対して、国土交通大臣が告示で定めるところにより、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が認定する適性診断を受けさせなければならないことになっています。対象となる運転者を次の中から選び○印を、そうでないものに×印を記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 死亡事故を引き起こした者

イ. 運転者として新たに雇い入れた者

ウ. 高齢者(55才以上の者をいう。)

ア () イ () ウ ()

問題 2 1 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息时间及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。①～⑥から正しいものを選び【 】内に記入しなさい。

(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ア. 1箇月の拘束時間は、原則として【 】を超えないものとする事。
イ. 1日についての拘束時間は、【 】を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とする事。
ウ. 勤務終了後、継続【 】以上の休息期間を与える事。
エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり【 】、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする事。
オ. 連続運転時間は、【 】を超えないものとする事。

- | | | | | |
|---------|-------|-------|--------|---------|
| ① 4時間 | ② 8時間 | ③ 9時間 | ④ 13時間 | ⑤ 293時間 |
| ⑥ 320時間 | | | | |

ア() イ() ウ() エ() オ()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和4年5月30日)

申請者名 (法人名) _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を省略しているものもあります。

I. 次の問題1から16の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を()
内に記入しなさい。

問題1 (定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送(自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。)を利用してする貨物の運送をいう。

(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題2 (事業計画)

事業者は、その業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題3 (名義の利用等の禁止)

事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題4（輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止）

事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあっては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ○ ）

問題5（事故の記録）

事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記録し、その記録を本社において1年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ × ）

問題6（過労運転の防止）

事業者は、乗務員の健康状態の把握に努め、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をし、又はその補助をすることができないおそれがある乗務員を事業用自動車に乗務させてはならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ○ ）

問題7（運送約款）

事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。但し、事業者が、国土交通大臣が定めて公示した標準運送約款と同一の運送約款を定め、又は現に定めている運送約款を標準運送約款と同一のものに変更したときは、その運送約款については認可を受けたものとみなす。（貨物自動車運送事業法）

（ ○ ）

問題8（運行管理者）

事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転者のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ × ）

問題9（事業）

国土交通大臣が指定をした地方貨物自動車運送適正化事業実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他この法律又はこの法律に基づく命令の遵守に関し事業者に対する指導を行う。（貨物自動車運送事業法）

（ ○ ）

問題 1 0 (従業員に対する指導及び監督)

事業者は、当該事業に係る主な道路の状況その他の事業用自動車の運行に関する状況、その状況下において事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な運転の技術及び法令に基づき自動車の運転に関して遵守すべき事項について、運転者に対する適切な指導及び監督をしなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 1 1 (点呼等)

事業者は、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示をしたときは、運転者ごとに点呼を行った旨、報告、確認及び指示の内容等を記録し、3年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(×)

問題 1 2 (過労運転の防止)

事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 1 3 (事故の報告)

事業者は、その事業用自動車が転覆し、火災を起こし、その他国土交通省令で定める重大な事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 1 4 (有償運送)

自家用自動車は、無償で運送の用に供してはならない。ただし、災害のため緊急を要するとき、又は公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するときは、この限りでない。(道路運送法)

(×)

問題 1 5 (輸送の安全)

事業者は、事業用自動車の最大積載量の9割を超える積載をすることとなる運送(以下「過積載による運送」という。)の引受け、過積載による運送を前提とする事業用自動車の運行計画の作成及び事業用自動車の運転者その他の従業員に対する過積載による運送の指示をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 1 6 (運行指示書による指示等)

事業者は、1週間ごとに貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記載した運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し、適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(×)

II. 次の問題 1 7 から 2 1 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 1 7 (届出)

次の届出のうち誤っているものを1つ選びなさい。

(貨物自動車運送事業法施行規則・貨物自動車運送事業報告規則)

- ア. 一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員又は社員に変更があった場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。
- イ. 一般貨物自動車運送事業者及び特定貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金を定め又は変更しようとするときは、その30日前までに、運賃料金設定(変更)届出書を所轄地方運輸局長又は国土交通大臣に提出しなければならない。
- ウ. 一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。

(イ)

問題 18 (過労運転の防止)

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から2つ選び()に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 日々雇い入れられる者

イ. 正規社員

ウ. 試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

(ア)(ウ)

問題 19 (乗務等の記録)

事業者は、事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録させ、かつ、その記録を一年間保存しなければならないが、次のア～ウについて、記録させる事項として正しいものには○を、誤っているものには×を()内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 乗務した事業用自動車の自動車登録番号その他の当該事業用自動車を識別できる表示

イ. 運転者の住所

ウ. 休憩又は睡眠をした場合にあっては、その地点及び日時

ア(○)イ(×)ウ(○)

問題 20 (従業員に対する指導及び監督)

事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める運転者に対して、国土交通大臣が告示で定めるところにより、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が認定する適性診断を受けさせなければならないことになっています。対象となる運転者を次の中から選び○印を、そうでないものに×印を記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 死亡事故を引き起こした者

イ. 運転者として新たに雇い入れた者

ウ. 高齢者(55才以上の者をいう。)

ア(○)イ(○)ウ(×)

問題 2 1 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息时间及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。①～⑥から正しいものを選び【 】内に記入しなさい。

(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ア. 1箇月の拘束時間は、原則として【 】を超えないものとする。
- イ. 1日についての拘束時間は、【 】を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とすること。
- ウ. 勤務終了後、継続【 】以上の休息期間を与えること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり【 】、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
- オ. 連続運転時間は、【 】を超えないものとする。

- | | | | | |
|---------|-------|-------|--------|----------|
| ① 4時間 | ② 8時間 | ③ 9時間 | ④ 13時間 | ⑤ 29.3時間 |
| ⑥ 320時間 | | | | |

ア (⑤) イ (④) ウ (②) エ (③) オ (①)

四国運輸局

法令試験実施状況

実施年月	受験者数	合格者数
令和4年5月	7	7